

◆編集・発行

茨城町 町長公室 秘書広聴課
〒311-3192
茨城県東茨城郡茨城町小堤1080
☎ 029-292-1111
メールアドレス
ibarakit@town.ibaraki.lg.jp

◆人口

住民基本台帳
令和元年7月末現在
男 16,392人
女 16,235人
総人口 32,627人
世帯数 13,287世帯

◆茨城町民憲章

- 1 ふるさとの自然を守り、美しい環境の町をつくりましょう。
- 1 からだをきたえ、教養を高めて、すこやかな町をつくりましょう。
- 1 隣人や家庭の愛を大切に、まごころのかよい合う町をつくりましょう。
- 1 自分の仕事に責任と誇りを持ち、活気に満ちた町をつくりましょう。
- 1 文化遺産を愛護し、先人の努力に感謝できる町をつくりましょう。

- ◆町の花 桜
- ◆町の木 梅
- ◆町の鳥 ウグイス

◆町の情報発信中!!

- 町公式ホームページ
<http://www.town.ibaraki.lg.jp/>



- 町公式ツイッター
<https://twitter.com/IbarakiTownMati/>



- 町公式Instagram
https://www.instagram.com/townibaraki_official/



里山に育む生きものたち

No.85 アオドウガネ
(コガネムシ科)

学名 *Anomala albopilosa* Hopu

写真・文 小菅 次男

我が家のニシキギには数年前からコガネムシの一種が大発生し、困っています。殺虫剤を噴霧すると多数の虫がガサゴソと大騒ぎです。皆さんの家でもこのような被害がありませんか。犯人はこの虫かもしれません。

▼アオドウガネとは
アオドウガネは、体長17.5〜25mm、背面はつやのある緑色、腹面は赤銅色のコガネムシです。本州（中部以西）、四国、九州、南西諸島などに分布する南方系の種です。

近年、本種は北上傾向にあり、以前は見られなかった関東地方でも生息数が増加してきました。

茨城県でも在来種のアオドウガネ（群馬県では絶滅危惧Ⅰ類）を駆逐

し、今では最も普通に見られる中型コガネムシとなっています。

ドウガネブイブイは体が銅色、ヤマトアオドウガネは同じ緑色ですが腹部末端に横一列の毛、アオドウガネは末端全体に毛があることで区別が出来ます。

▼生態
成虫は6〜9月にわたって出現し、メスは夏から秋にかけて土中に産卵します。また、幼虫は樹木や草の根、腐葉土を食べ、成長し、翌年春に蛹化、羽化します。夜行性で、灯火によく飛来し、昼間は葉の裏などで休んでいます。

5年前に涸沼自然公園での夜の昆虫観察会の灯火に本種が多く飛来し驚きました。アジサイも好

きなので気になります。

▼害虫で嫌われ者
成虫は各種の広葉樹の葉や農作物を食害する害虫として知られています。

葉に不規則な穴が無数に網目状に空けられているので、他の害虫の食害痕との違いがはっきりしています。

沖縄県の宮古島では、特産のサトウキビに大きな被害を与えています。幼虫がサトウキビの地下茎を食害し、枯死させているのです。このため誘蛾灯を設置して成虫の駆除を行っています。野菜類ではサツマイモ、トウモロコシ、サトイモ、イチゴなど多くの種類が害を受けています。今後、町の農産物に被害が出る

ちびっ子アート いばらき幼稚園



「みんなといっしょにあるいたよ」
みぞぐち けいと（4歳）

「きょうりゅうをみたよ」
たんげ いおり（4歳）